

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【公開番号】特開 2004-327148 (P2004-327148A)
 【公開日】平成 16 年 11 月 18 日 (2004.11.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-045
 【出願番号】特願 2003-118069 (P2003-118069)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 5 B 33/06

G 0 9 F 9/00

H 0 5 B 33/14

H 0 5 B 33/26

【F I】

H 0 5 B 33/06

G 0 9 F 9/00 3 4 8 Z

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/26 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 9 月 21 日 (2004.9.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 9】

封止部材 7 は、例えばガラス材料からなる平板部材に収納部である凹部 7 a を形成してなるものである。封止部材 7 は、凹部 7 a を取り囲むように形成される支持部 7 b を、例えば紫外線硬化型エポキシ樹脂接着剤を介しガラス基板 2 上に気密的に配設することで、封止部材 7 とガラス基板 2 とで有機 E L 素子 9 を収納する気密空間 S を構成する。封止部材 7 は、透明電極 3 のリード端子 3 c 及び背面電極 6 のリード端子 6 b が外部に露出するようにガラス基板 2 よりも若干小さ目に構成されている。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 4】

有機 E L パネル 1 の接合構造において特徴となる点は、フレキシブル回路基板 8 の接続端子 8 b と有機 E L パネル 1 のリード端子 3 c , 6 b とを異方性導電膜 1 1 を介して接合する場合において、異方性導電膜 1 1 がリード部 3 b , 6 a 上に形成される補助電極 1 0 に接触しない状態にて接続端子 8 b とリード端子 3 c , 6 b とを接合し、異方性導電膜 1 1 を用いた接合個所において、リード部 3 b , 6 a 上に補助電極 1 0 が形成されず、かつ異方性導電膜 1 1 によって接合されない空き領域 1 2 が存在する従来に比べ (図 5 (b) 参照)、図 5 (a) に示すように、異方性導電膜 1 1 の一端側 (有機 E L 素子 9 側) が補助電極 1 0 の一部分に重なる重合部 1 3 を形成し、図 5 (b) で示すような空き領域 1 2 を形成しない点にある。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】

